飛田雄一

ソウルのあるき方、のぼり方、のみ方

大学路・マロニエ公園

●11 月６日（日、2022 年）

ソウルだ。コロナ前、2019 年 12 月に強制連行関連の出版記念会に参加して以降、３年ぶりだ。うれしい。今回は、「日韓和解と平和プラットフォーム」の合同運営委員会がある。それが、８日から 10 日の 3 日間。日本側から１２名が参加した。2 泊 3 日で参加のメンバーもいたが、私はせっかくの訪韓、６泊７日とした。自由な時間もたっぷりあり、ひとりでうろうろするのも楽しみだ。

飛行機代もだいぶ安くなってきたようだ。プサンエアー（LCC）を８月ごろに予約した。31,740 円。また、コロナ関連で事前にネット申請する事柄もある。

関空までリムジンバス。さっそくトラブル。私は第２ターミナルに着いた。9 月に国内線でここに着いたからか？、

第２と思い込んでいたのだ。中国行の便しかない。LCC だから兼ねているのか？ ちがう感じ。書類を調べた。第１ターミナル発だった。移動した。時間に余裕があったのでよかった。

韓国入国に際して、事前申請の「K-ETA（電子渡航認証システム）」がある。これはけっこう面倒だった。教えてもらいながら申請した。申請受領のメールをプリントして持参したが、それを見せる場面はなかった。パスポートに連動して記憶されているようだ。

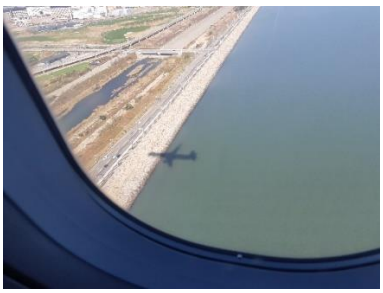
関空 12:20 発のエアープサン BX171 便。ほぼ満席だ。韓国人がほとんどのようだ。関空から仁川まで雲がなかった。地上の景色がよく見えた。こんなのは初めてだ。

機内で、黄色い紙が配られた。K-ETA 申請のときのようにパスポート番号、宿泊先等を記入する。飛行機便名のほかに座席番号まで書くようになっていた。が、その紙も入国時さっと渡したら終わりだった。３万円を両替した。92,244 ウオン／1 万円、円安だからしかたない。

会議まで 2 泊のホテルは「スカイパーク東大門」。愛用の東横イン東大門は連泊ができなかったので、ここにしたのだ。ツインの部屋。少々高かったが、満足であった。

夜、韓国在住の友人ふたりとホテルの近くで食事。あっさりした牛肉スープ、おいしかった。ごちそうになってしまった。申し訳ない。

いい気分で寝た。夜中、２度も、スマホが「警告」。なんでもムグンファ号が脱線した、ソウル地下鉄にも影響がでているとのこと。たいへんなことだが、電源を OFF にして寝た。



（関空より仁川、エアープサン／韓国に上陸？しました／地図、空港鉄道案内、同チケット）

●11 月７日（月）

きょうは、一日フリーだ。うれしい。朝、ホテルを出発した。

市内各所にレンタサイクルがある。借りたかったがやめた。自転車手袋を持参しているが、すこし寒い。そして、スマートホンがないと借りられない。私は、ホテル等での Wi−Fi のみの接続なので無理だ。以前、持ち運びのWi−Fi 発信機を借りたこともあるが今回は借りなかった。それほどでもないし、レンタサイクルのためにだけ借りるものもうひとつだ。

（ホテル近くのソウル市運営？のレンタサイクル／繁華街ではたくさん乗り捨て／植民地歴史博物館にあった自転車／同「平壌に行く平和の碑」、民族問題研究所、手をたずさえて“平和の道”へ）

東大門に大きな「グッドモーニング」ビルがあった。コーヒーでも飲もうとしたら、10 時半開店だった。

東大門から鍾路５街方面に歩いた。このあたりには案外喫茶店がない。TOMTOM に入った。韓国語がまだ耳口になじんでいないのか？、冷たいコーヒーがでてきた。しかたない。パンはおいしかった。持参した本は、センター古本市で買った『教科書でおぼえた名詩』（文春文庫）、そして、『ことりっぷ co-Trip・ソウル』。「ことりっぷ」シリーズは好きで、よく買っている。コロナ前の本なのに、コスメ案内にかわいい「マスク」の宣伝があった。（64 頁）

（グッドモーニングビル／１０時半開店でした／清渓川散歩道／「ことりっぷ」と詩集）

詩集に、高村光太郎がでている。読んだことのある詩がある。高村はあまり好きでなかったが、何篇

かよむとそれなりにいいなと思った。加齢によるものか。でもなぜ、金子みすずが載っていないのだろう。

ことりっぷ、これは旅先で読むのが楽しい。どちらかというと若い女性用のガイドブックだが、うまくつくられている。エンターテインメントの頁がある。（123 頁）

ナンタ（乱打）劇場、B-BOY 劇場、ジャンプ劇場、貞洞劇場。

ナンタは、一度大阪でみたが、ソウルでも見たかった。ジャンプもいい。ことりっぷの写真がおもしろい。封建時代の拷問シーンを茶化したものだが、私たちも済州島ツアーをしたとき、その道具をみた。そこで、若者が同じようにふざけている姿を思い出した。いずれも午後 4 時開演なのでそれまでウロウロすることにした。

宗廟にいった。ずいぶん以前に一度いったことがある。今回、土日祝日以外は、ガイド付きでないと入場できないという。午前 11 時 40 分から日本語コースがある。あたりでぶらぶらと時間をつぶしてから参加した。「日本語人」は私ひとり。申し訳ない。女性のガイド、日本語もばっちりだ。李王朝のことなどほんと詳しい。50 分のコース、時代劇派の人には、必見必聴のコースだ。すべての王様が祭られているのではない。どんな王様が外されたのか、その理由は何かなどなど興味は尽きなかった。

昼、タプコル（パゴダ）公園あたりをうろうろした。いつもの公園内の将棋おじさんがいない。追い出されたのか、と思ったら西の塀のむこうに 100 卓ほど、正式の？テーブルでやっていた。将棋は健在だ。私も駒の動かし方だけは知っている。以前、学生センターの近くに在日高麗将棋連盟の会長・申仁弘さんがおられた。自宅は山口組御殿の隣だった。『天地有情・水堂夜話』という自叙伝も書かれている。

私が以前むくげ通信に「研究報告 1961 年・武庫川河川敷の強制代執行」102 号）を書いたら、申さんから連絡がきた。自分がそこに住んでいたというのだ。話を聞いた。また、その集落に兵庫在日外国人人権協会の孫敏男会長も住んでいたという。孫さんには、そのことをテーマにセンターの朝鮮史セミナーで講演もしていただいた。

（東大門のサムギョプサル専門店「竹大統領」、以前むくげの会で宴会をした／東大門／宗廟）

（宗廟前の‥／紅葉がきれい／宗廟チケット 1000 ウオンは安い）

タプコル公園、正面から東の壁にそって 100 名ほどの人がならんでいる。昼時で炊き出しのようだ。その列を追ってみると福祉会館があり、そこは室内で 30 人ほどが食事をしていた。弁当を配る炊き出しではなくて、ちゃんとした食事が提供されるようだ。写真はとっていない。

私の昼食、そのあたりの店に入った。豆もやし定食。7000 ウオン、おいしかった。満足して仁寺洞、ＹＭＣＡあたりを散策した。

むかし鐘閣場ホテルがあったなあ、私の初めてのツアコン（プサン・ソウル）で泊まったなあ、なくなって久しいか、むくげの会ゲストディの先月の ZOOM 講演（松下茉那さん）の「ソウルのスラム」のひとつはこのあたりだったけどわからないなあ・・。

さて、夕方からはエンターテインメント。「ことりっぷ」は 2014 年版、コロナ前の本なので、電話をしてみた。なんと、４つともその日の公演はなかった。行かなくてよかった。韓国の劇場チケットはみんなスマホで事前予約をする。私は先に書いたような事情でできないので、早い目に劇場に行こうと思っていたのである。

さらに、ウロウロ。鐘閣あたりで多くのビールを飲み比べできる店があるのだ。庵逧由香さんに連れて行ってもらったことがある。その後、二度、訪ねようとしたのだが発見できなかった。今回は時間がある、執念で捜索した。

（探しあてたビール店／60 種のクラフトビールが飲めます／「安東ビール」）

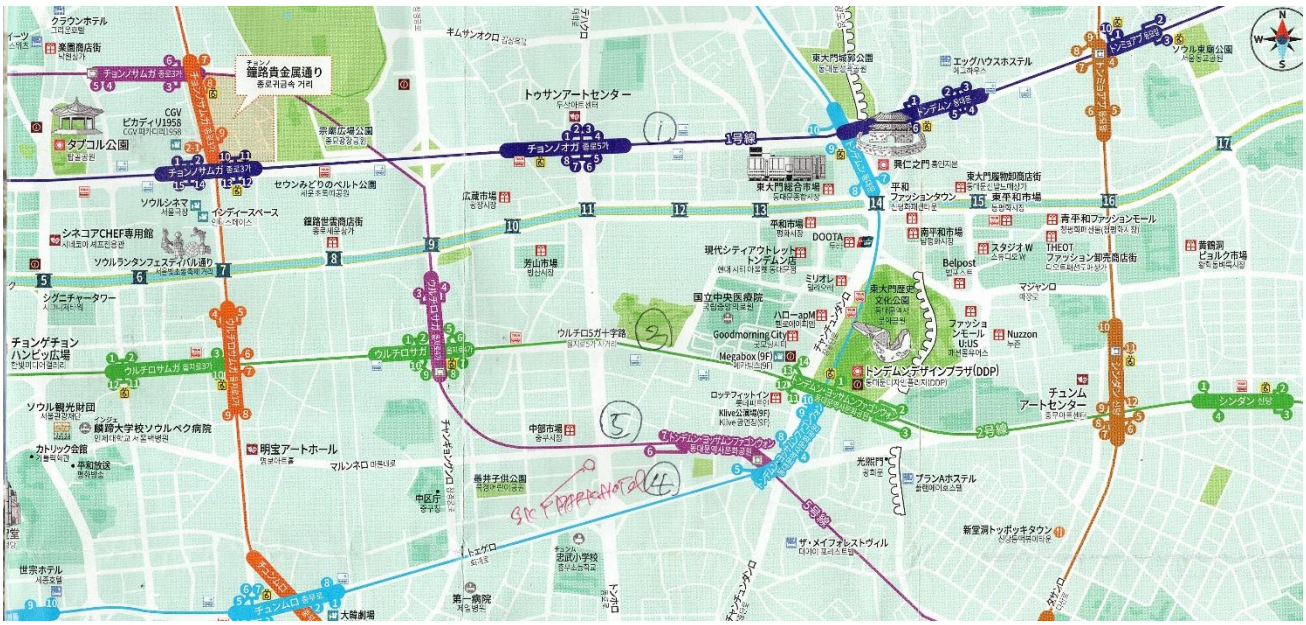
あった。最後は、イケメンの別のレストランの案内人が、ここにあると私を連れて行ってくれたのだ。感謝感激。店の名前が「TAP PUBLIC」、店名にビールが入っていないのが問題だったのだ。時間が午後４時、まだ早い。さらにウロウロして５時に入店した。最初の客だ。写真もＯＫとのこと。撮った。この風景、すごいだろう。

60 種のクラフトビールのサーバーが並んでいる。客は、温泉ヘルスセンターでもらうような時計状のものをもらう。それをサーバーに「ピッ」として、コップに注ぐ。ビール、10ml、〇〇ウオンと書かれている。入れるのは多くても少なくてもいい。計量されているのだ。

そして、歩いて東大門まで帰るのももういいかと地下鉄に乗った。１ 号線で東大門へ。東大門は地下鉄がたくさん乗り入れている。駅も東大門と東大門歴史博物館、そんなに距離は離れていない。１ 号線は東大門でおりる。ホテルは、４ 号線６番出口から行く。東大門駅からこの６番出口に徒歩で向かった。が遠い？、さらに複雑だ。たいへんなことになった。

この６番出口が地上から発見できない。タクシーの運転手に聞いても、もうひとつわからない。乗らない客に返答するのもいやだし？、私の韓国語もおかしい。

地下の表示をみると地下鉄５号線経由で行くようにある。そのために改札を入る必要はないだろうと地上を歩く。それらしい通りを見つけたので西に進む。が、ホテルがない。引き返す。よく見慣れた東大門の景色だ。むくげの会合宿で、みんなで飲んだ店もある。これは発見した。しかし、肝心の６番出口がみつからない。地図をまじめにまじまじと見た。５番出口と８番出口の間を西に進むのだ。その道はさほど大きくない。先ほどまちがったのはそうではない大きな道を西にいったのだ。６ 番出口を発見した。うれしかった。この迷走、なんのことかと思われるだろうから、地図をコピーして以下にはった。少しは理解していただけたかな？ 疲れた。風呂に入って寝た。



●11 月８日（火）

いよいよ旅の本来の目的の会議だ。「日韓和解と平和プラットフォーム」2022 合同運営委員会。午後 3 時半、大学路興士団会館集合。きょうもまだだいぶ時間がある。朝食は純豆腐定食。おいしかった。ぐつぐつ煮えている鍋を動画で Facebook にアップしたら、迫力があった？。好評？だった。

きょうから４泊する淑大入口駅近くの「デザイナーズホテルソウル駅」に向かった。荷物を預けてまたウロウロするのだ。淑大入口駅 10 番出口徒歩１分とある。出口番号は重要だ。１分と思って歩き出したら、行き過ぎた。出口のところにホテルがあった。立派なホテルだ。２泊は運営費から、当たり前だが追加２泊は自腹だ。高そうだ。もっと安いホテルにしたらよかったかな？ 120,000 ウオン。ダブルベットの広いいい部屋だが、円安なので困る。

荷物を預けて歩いてソウル駅へ。歩くと、いろんなものをゆっくりとみることができる。ホームレス支援のセンターがここにもあった。最終日１２日、朝９時半の飛行機なので仁川空港への直通列車（41 分）の予習もした。仁川空港―ソウル駅間は、直通と普通があり少々ややこしい。普通は交通カードでＯＫ、4500 ウオンだが、直通は別途チケットを購入する 9500 ウオン。レールは共有しているようでそうでないらしい。以前、１日１本仁川空港から麗水への KTX に乗ったが（それ以外はソウル・麗水）、そのレールとの関係、最近鉄ちゃんになった私は気になるが不明である。

（大学路、マロニエ公園／新聞を読むおとこたち／なにをみている？）

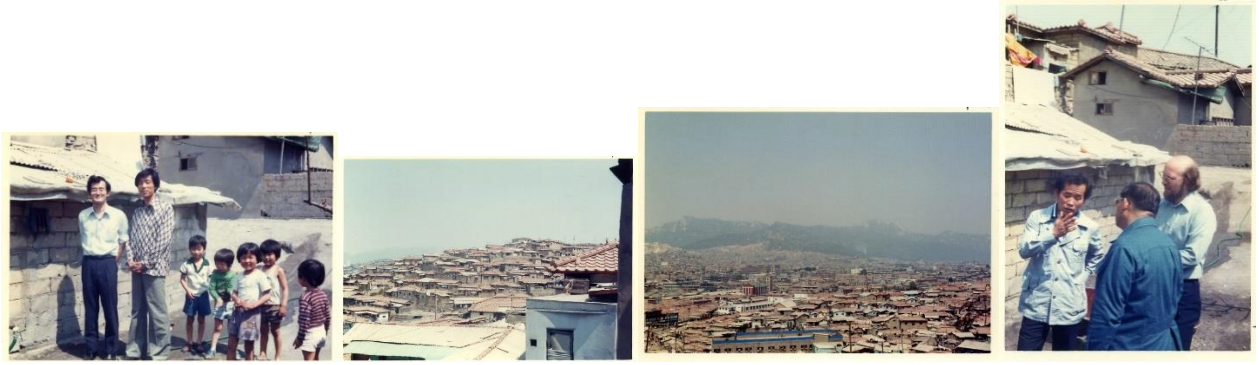
ソウル駅３階も探検した。Wi―Fi 完備の大きなコーヒー店で、この原稿を書いている・・・・。なんて、作家みたいだな・・。

乗りなれた地下鉄４号線で恵化駅へ。ここが大学路だ。案内所でいい地図をもらって歩いた。旧ソウル大学、これがあったので大学路というのだ。咸錫憲の詩碑もある。韓国のガンジーともいわれている有名人だ。マロニエ公園のイチョウがきれいだ。駱山にも登った。東大門から城壁道を登るとここに出る。以前登ってむくげ通信〇号に書いた。

私の最初の訪韓の 1978 年。キリスト教都市産業伝道交流で来たとき、フィールドワークで東大門地

域に来た。東大門から山に登ってスラムの教会を訪ねた。そうだ。その地域が開発されて公園化されていたのだ。

駱山記念館があったので入ってみた。清渓川、東大門のスラムの写真が展示されていた。私のなかで歴史が少しつながった。

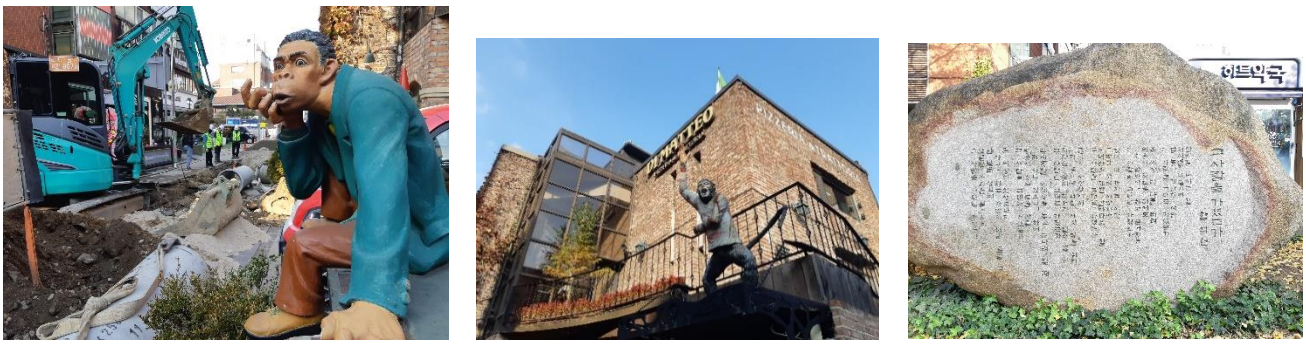


（1978 年、日韓 UIM、東大門南スラムの教会、飛田と労働者と子ども／中２枚がスラム／右の左は許秉燮牧師）

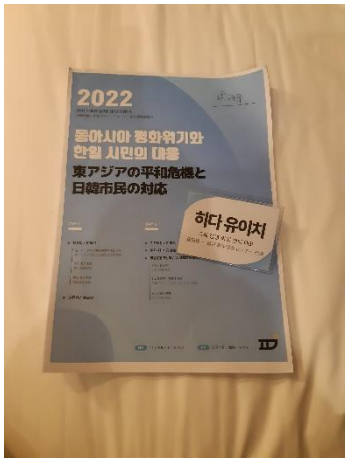
（ソウルの城壁／駱山展示館／駱山公園、展示の冊子／ホテルのテレビで見た番組の人気のオートバイ料理人のポスターがあった、大学路）

午後 3 時半、大学路興士団会館についた。当日、成田から直接ここに来たメンバーもいる。会議は、「東アジアの平和の危機と韓日市民の対応」をテーマにしたものだ。

東アジアの平和と日韓市民の応答課題、歴史正義の実現、韓日青年の連帯、３つのテーマで日本側韓国側がそれぞれ 15 分発表する。私は歴史問題の担当だ。会議は事前に提出された報告を読み上げるスタイルで通訳は入らない。これも一つの方法だ。飛田の原稿は、むくげ通信 315 号に貼り付けた。（「むくげ通信」で検索してください）



（大学路のモンキー／？？／咸錫憲詩碑）



（興士団会館／会議場、飛田雄一のハングルの名札がある／会議の冊子）

終了予定を少しオバーして、終了した。懇親会は、近代的な韓定食。おいしかった。

懇親会の最後には、韓国ＹＭＣＡの金敬敏さんの唄があった。うまいというより、おもしろかった（失礼しました）。

次は日本側、となった。私が、18 番の「アチミスル（朝露）」を歌った。それなりに受けた。よかった。

日韓プラットフォームの運営委員たちは、むくげの会のメンバーと違って「韓国宴会」に不慣れなようだ。私は報告に続いて、懇親会でも日韓プラットフォーム会議に貢献したことになる。

ホテルにもどり、コンビニでビールとワインの小瓶をかった。風呂に入ってからそれを飲んだ。ワインは小さいのを買ったら「赤玉ポートワイン」だった。甘くて、いただけなかった。Cass ビールはおいしかった。

●11/9（水）

ソウル日本大使館前でプラットフォームの会見だ。なんでも、デモ申請・集会申請に比べて、記者会見は、街頭でも問題なく開くことができるとのこと。日韓プラットフォームの代表があいさつをし、佐藤信行さんが声明文を読みあげた。最後は、「アチミスル」の合唱とのこと。私はここでも指名されて歌った。韓国プラットフォームのメンバーは、きのうに続いて喜んでくれた？

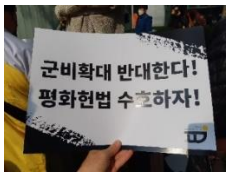
そのあと、「水曜集会」に参加した。水曜集会の主催者はそれなりに宣伝カーも準備してにぎやかにスタートした。が、少し離れたところでの「右翼」の宣伝カーがうるさいのだ。噂に聞いていたが、予想以上にうるさかった。困ったものだ。日本側からは、ピースボートの野平さんがあいさつした。力強かった。通訳は民族問題研究所の金英丸さん、じょうずだし、元気な野平さんの雰囲気を上手に伝えている。

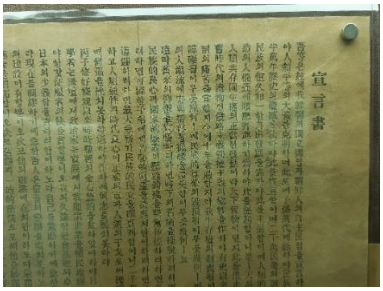
金英丸さん、最初の出会いは覚えていないが、だいぶ前からの知り合いだ。北海道朱鞠内のワークショップに参加しているときに事故で大けがをして、みんなで支援した。その後、高知で活躍し、今は、

民族問題研究所（ソウル）で〇〇を担当している。民族問題研究所と強制動員真相究明ネットワーク（共同代表・庵逧由香、飛田）は「明治産業革命遺産」の冊子を共同で出版するなどしている。今夏、佐渡で佐渡鉱山世界遺産問題をテーマに新潟と佐渡で研究集会／フィールドワークを開催した。韓国側５名の入国手続きを学生センターが代行したがたいへんだった。コロナ検査の関連だ。

日本政府の関連ホームページで四苦八苦して届け出を完了したが、最終の通知がこない。金英丸さんから「あす朝 10 時にソウル日本大使館に申請しないと間にあわない」と電話が入った。八方手を尽くして担当部署を突き止めて直接電話した。そして、おどろいた。

マイクロソフトエッジでの申請で最終段階まで行ってストップしている。担当官は、なんと「グーグルでもういちど申請していただけませんか」。ふむ、なんのこっちゃ。でも、した。ＯＫとなった。その担当官が小さな声でそのことを伝えてくれなかったらどうなっていたであろうか・・・。





（「軍備拡大反対、平和憲法守護しよう！」／水曜集会／アピールするピースボート野平さん／31 独立宣言）

（植民地歴史博物館／同館の指紋押捺反対ニュースと当時作成した佐藤信行さん／合同会議）

水曜集会のあと、遅い昼食となった。おいしかった。食事ばかりしているようだが、本ドキュメンタリーでは、事実を書いている。

その後、民族問題研究所が運営する「植民地歴史博物館」を訪ねた。私は２回目だ。案内は金英丸さん、分かりやすく簡潔だ。解説の中で、朝鮮神宮の話があった。気になった。

朝鮮総督府が、南山ケーブルカーの下あたりを削って朝鮮神宮をつくった、とのこと。博物館からちょうどその部分が見える。私は南山には何回も登っているが知らなかった。

もうひとつ、３・１ 独立運動の「宣言文」の初版の展示があった。金さんの解説によると、１ 行目の「朝鮮」が「鮮朝」となっている。誤植だ。これが初版の証拠だ。写真をとった。上に貼った。わかる

だろうか？
　さらに両国プラットフォームのメンバーで夕食。上等のコース料理だった。次回日本で合同運営委員会を開催するときのことを想像して日本側運営委員は、酔うことができない？？　お土産までいただいた。
　博物館からホテルまでは徒歩 10 分程度。それなりにほろ酔い気分で帰路についた。また風呂に入った。ビールを飲んだ。寝た。

●11/10(木)

　朝、プラットフォームは解散。私はホテルで成田に出発する 4 名をお見送りした。また、フリーの日だ。うれしい。
　ホテルの近くの戦争博物館と国立博物館に行くことにしていた。ふたつとも、以前行ったことがある。が、「南山西氷庫記念館」のことを思い出した。ここに行くことにした。
　ホテルをでてすぐ、車から女性に声をかけられた。民族問題研究所で働く日本人・野木香里さん。研究所が近くにあるとはいえ、よくまあ偶然であい、声をかけてくれたものだ。また淑大入口駅のホテルに移動したときは、地下鉄出口でも同研究所の金英丸さんにあった。ソウルでの偶然はけっこうあって？、だいぶ前、八幡明彦さんとソウル地下鉄であったりもしたこともある。

　以前、ソウルの村山俊夫さんから「KCIA の秘密の取り調べ室」が西氷庫にあった。民主政権になってから場所が特定されて記念館になっている、という話だった（と、思ったのだった）。西氷庫に連れていかれという話を元政治犯の在日コリアンがよく書いている。南山方面に歩き出し、ウロウロしたがそれらしいところはない。M さんに電話をした。

「記念館になっているのは南営洞。ソウル大生朴鍾哲が水拷問によって命を落とした。今は工事中で入れない。西氷庫に記念館はなく石碑もない。案内人がいなければその場所も分からない」。

　私の早とちりだ。あきらめた。南山に登ることにした。私は、「ソウル城壁 64 キロ完登」には執念をもっている。この部分は、すでに東大門付近から登っている。でも、南山の南からソウルタワーをめざした。
　ソウルタワーはずっと見えているのに、道が分かりにくい。途中、細い階段を掃除しているアジュモニ（おばさん）に、ここを登って南山に行けますかと聞いたら、OKとのこと。登りだした。
　上の道路にでた、先にまた細い階段がある。「南山に登れません」とある。でも、登ってみた。やはり、登れなかった。別の道を見つけて登った。
　最後は車の道。急な道路だ。制限速度は 20 キロ、自転車はスリップして危ない、との看板も。「あなたの速度はいま〇〇キロ」という看板もあった。マイクロバスが 1 台通った。39 キロだった。ほんとに自転車も来るのだろうかと思っていたら来た。39 キロだった。測定器がこわれているようではなかった。

（登山路ではない／のぼるとやはり、行き止まり／272M 南山ツルレキル、ここを登りました）

（自転車スリップ注意／制限速度 20K、あなたは〇〇K／自転車が下っていきました）

ソウルタワーについた。城壁もみえる。紅葉の季節で人も多い。いい感じだ。景色は、もうひとつ。天気がよければソウル一望だが、PM2.5 でかすんでいた。

次は、朝鮮神宮跡探求だ。植民地歴史博物館で金英丸さんの話だ。

「朝鮮神宮は南山の一部を削って作られた。それは博物館からもみえる。南山ケーブルカーの通っているところだ」。

何回も南山に来ているのに、そのことを知らなかった。

ケーブル山頂駅に着いた。以前はケーブルに乗って降りた。しかし今回は、歩いてくだる。急坂をくだるが、上部は自然の山のように見える。どんどんと下ると朝鮮神宮跡の看板、その横には城壁発掘現場、城壁記念館の看板がある。そうなのだ。朝鮮総督府は城郭の一部を削って朝鮮神宮をつくったのだ。神宮は戦後壊され（当たりまえですね）、発掘／保存活動が進んでいる。（夕方、ホテルにもどって南山をみた。明らかに不自然に南山の麓が削られている。そこに朝鮮神宮が建てられたのだ。）

以上、確認ができたことを喜んで、さらに下った。安重根記念館があった。今回は時間がある。入ってゆっくりと観覧した。

ケーブルカー vs ロープウェイ。日本と韓国で大きな違いがあるのをご存じだろうか？ 反対なのだ。韓国のケーブルカーは日本のロープウェイ。逆の韓国のロープウェイが日本のケーブルカーである確信はないが、少なくとも南山ケーブルカーは日本的には南山ロープウェイだ。

（安重根の墨書、記念館前／城壁横を下る／金九広場がありました）

安重根はハルピンで伊藤博文を殺害した。日本では悪い人だが、韓国では英雄だ。

私は、神戸・南京をむすぶ会のツアーでハルピンを訪問したことがある。ハルピン駅に安重根の銅像があったが中国政府に撤去されたと聞いていた。なぜかなと思っていた。駅構内でそれらしい跡を見つけてここから安重根が伊藤博文を撃ったのかなどと想像した。が、違った。撤去されたのは伊藤博文の銅像だったとのこと。銅像のことを教えてくれた友人は、伊藤博文の銅像だと考えていたが、私がかってに安重根の銅像だと考えていたのだ。ただの早とちりだ。伊藤博文の銅像が撤去されたのは、当たり前だ。

安重根記念館の展示に、安重根は自分の骨はハルピンのどこかに埋葬してほしいと語った、とある。しかし、安重根は、ハルピンから旅順に移送され、そこで死刑判決を受け処刑された。私は、神戸・南京をむすぶ会のツアーで旅順にも行ったことがある。そこで、安重根のための特別室があり、そこで遺筆を残したところだ。記念館にその部屋が再現されていた。

安重根の遺骨は行方不明だ。日本が、墓地が聖地になることおそれて明らかにしなかったのだ。そして、展示によると、近くの孝昌公園に遺骨が発見されたときに埋葬するための仮墓が作られているとのこと。尹奉吉、李奉昌、白貞基の墓の横に、遺骨の入っていない安重根の仮墓がある。

尹奉吉は、1932 年 4 月 29 日、上海虹口公園（いまの魯迅公園）で、上海派遣軍司令官陸軍大将白川義則らを死殺害した。生まれた忠清南道礼山に記念館があり、私も訪ねたことがある。金沢で銃殺刑に処せられた。李奉昌は、1932 年、昭和天皇の暗殺を試みて桜田門事件を起こしたが、襲撃は失敗し死刑に処された。白貞基は、1933 年、有吉明公使を殺害しようとして失敗した。無期懲役を宣告され、服役中に獄死した。いずれも韓国ではよく知られた独立運動家だ。

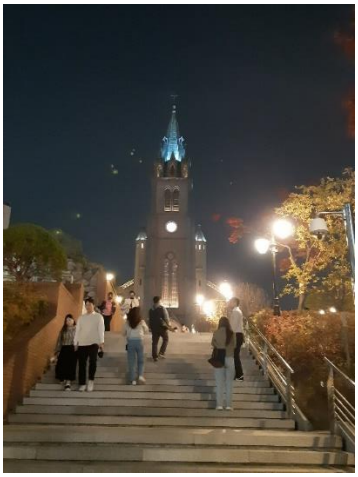
夜、明洞にくりだした。くりだしたといっても、ひとりだ。

路上ライブをしていた。上手だった。でもそれは、世宗ホテル労働組合の解雇反対の路上集会。しばらく聴いてから明洞聖堂へ。聖堂前では、30 人ほどで開発反対の路上ミサが開かれていた。若い神父さんだった。

明洞を歩いた。デモの声がする。近づいてみると先ほどの労働組合のデモだった。にぎやかな屋台の

並ぶ通りをねり歩いている。

（路上ライブ？／世宗ホテル整理解雇、労働者は闘う／明洞聖堂の前にＹＷＣＡ）



（明洞聖堂前で集会・ミサ／明洞再開発～木曜祈祷会／明洞聖堂）

（明洞通りのデモ、世宗ホテル整理解雇撤回！／通りはにぎわっています／サムギョプサル）

そして、夕食。サムギョプサルを食べた。私は実は、以前釜山で友人が最初に連れて行ってくれた場末（ばすえ）のサムギョプサルが好きだ。薄い薄い豚の三枚肉を、ベイコンを焼くようにパリパリに焼くのだ。入ってきた２名の女子大生が４人分を注文していてびっくりした。値段も安くそのように注文するそうだ。

そのサムギョプルに比べると今回は、肉も厚く上等だったが、私は釜山のあのサムギョプルがいい。

また場末のサムギョプサル店に行きたい。

●11/11（金）

朝 10 時に中部日報のインタビューを受けた。仁川の旧日本軍造兵廠が取り壊されようとしていることについて、約 2 時間。通訳は、許光茂さん、その仁川造兵廠研究の第一人者だ。韓日民族問題学会の会長でもある。旧知の友人だ。新聞は、11 月 14 日に掲載された。

중부일보 | 2022년 11월 14일 월요일　　인천 종합　　9

“일본인들은 인천육군조병창의 존재를 모릅니다”

히다 유이치 '강제동원 진상규명 네트워크' 공동대표

일본 불편한 전쟁유적 거의 없애
미래 아이들의 기억·공감 위해
제대로 보존할 방법 찾아주길

국방부와 인천시가 지난 7일 인천육군조병창(부평캠프마켓) 내 조병창 병원 건물을 기습적으로 철거했다가 학계·시민사회의 비판으로 지난 11일 '철거 잠정중단'을 결정했다.

이 같은 상황에서 히다 유이치(飛田雄一) '강제동원 진상규명 네트워크' 공동대표는 같은 날 중부일보와의 인터뷰에서 "인천육군조병창은 한국과 일본, 중국, 북한이 서로 역사인식 격차를 좁혀줄 수 있는 중요한 유적이다"고 강조했다. 다음은 일문일답.

-일본 입장에서 강제동원 역사를 그대로 전하는 게 왜 중요한가.

"일본정부가 강제동원의 역사를 빼고 일부만 세계유산으로 등재하는 과정에서 한국정부와 마찰을 빚는다. 조선침략이나 중국침략도 엄연히 일본의 역사다. 일본에서도 불편한 역사를 없애야 한다고 주장하는 사람이 많다. 하지만 불편한 역사를 빼면 후대에 관련된 내용을 전달하기가 매우 어렵다. 앞으로 '미래 일본'을 생각한다면 온전하게 모든 역사를 남기는 게 옳다."

-인천육군조병창은 일본에도 불편한 역사인데, 보존할 가치가 있는가.

"일본의 조선통치 병참기지화는 1930년대 이후 조선통치의 큰 이념 중 하나였다. 한국인에게 인천육군조병창은 슬픈 역사이지만, 일본 입장에선 중국침략의 상징적인 곳이기에 일본역사를 제대로 남기기 위한 차원에서 보존이 중요하다. 일본인은 인천육군조병창의 존재를 모른다."

-인천육군조병창 시설 대부분을 철거하고 기록만 남기자는 주장이 있다.

"한·일이 역사인식을 좁히려면 유물·유적을 그대로 남기는 게 가장 중요하다. 인천육군조병창에서 어떠한 역사가 있었는지 연구해야 한일역사를 제대로 남긴다. 따라서 상징적인 건물 1~2개만 남겨서는 절대 후대에 전달할 수 없다. 건물 하나하나가 다 중요하다. 그래야 양국의 미래 아이들이 기억하고 공감한다."

-국방부와 인천시는 '환경오염정화'를 이유로 조병창을 철거하려 한다. 일본의 경우는 어떠한가.

"일본정부도 불편한 전쟁유적에 대해 '오염문제가 심각하다', '위험하다'라는 이유를 들려대며 없애왔고, 없애고 있다. 불편한 전쟁유적이 거의 다 사라지고 없다. 반면 인천육군조병창은 미군이 주둔해 현재 부평캠프마켓으로 남은 덕분에 온전히 남아 있는데, 일본에선 드물다."

-현재 일본이 처한 역사왜곡 문제는.

"일본엔 조선인 강제동원 기록을 새긴 비석과 기념물이 많은데, 군마현이 조선인 추도비를 없애려고 한다. 문제는 추도비가 설치된 토지의 관리자인 군마현이 추도비 설치 허가 갱신을 거부한 상태다. 이 추도비가 사라질 운명에 놓였다. 이같이 국가·지자체가 소유한 부지의 기념물들이 공격당하고 있다."

-국방부와 인천시에 해줄 말은.

"인천육군조병창 보존을 강하게 요구하고 싶지만, 우리(일본)도 잘 못하고 있기에 한국에 큰소리를 치기가 미안하다. 그래서 나는 거꾸로 말하고 싶다. 일본이 잘 못하고 있으니까 한국이라도 제대로 보존했으면 좋겠다는 것이다. '희망'을 요청한다. 인천육군조병창이 중요한 역사적 시설이기에 후대에 넘길 수 있는 좋은 방안이 무엇인지, 그것을 '모색해주기를', 그리고 모색 뿐만 아니라 '노력해주기를' 희망한다."

-마지막으로 하고 싶은 말은.

"희망하고 있습니다."(한국말로)

백승재기자

히다 유이치(飛田雄一) '강제동원 진상규명 네트워크' 공동대표(고베학생청년센터 이사장)가 지난 11일 서울 용산구 갈월동 '호텔 더 디자이너스 서울역점'에서 중부일보와 인터뷰를 하며 '인천육군조병창'을 역사교육현장으로 보존하자고 강조하고 있다. 백승재기자

（中部日報 2022.11.14 見出しは、「日本人は仁川陸軍造兵廠の存在を知らない」）

午後、前日の安重根記念館で学んだ孝昌公園に出かけた。ホテルのある地下鉄４号線淑大入口駅から西へ２．３０分のところにある。雰囲気のいい静かな公園の一角にある。同公園には、金九の記念館もある。自由な一人旅行はいい。そこもゆっくりと観覧した。

（左が安重根の仮墓／「・・・遺骨を探すことができないので、主のいない墓で魂を祭ることにした」／金九記念館）

最後の夜、ひとりでまた出かけた。淑大入口駅の南東部に繁華街がある。週末で人が多い。チュオタン（どじょう汁）の店があった。入った。おいしかった。

帰路、迷った。それほど方向音痴ではないのに？、ときどき繁華街で方向をまちがえる。神戸元町で

店に入って、来た方向に歩き出して注意されたことがある。180 度ミスをすることがあるのだ。今回、明洞でもそれをやってしまった。まあ、大勢に影響はない。別の地下鉄の駅から乗り、2 度乗り換えてホテルにもどった。ソウルの地下鉄の座席は固い。私は健康にいいので気に入っている。

（チュオタン、ドジョウ汁／イエスのコーヒー（キリスト教大韓清潔教会）、ビールがなさそうなので入らなかった／ホテルから南山、切れているところが朝鮮神宮跡）

●11/12（土）

朝 9 時 30 分仁川国際空港発の飛行機に乗る。6 時過ぎにホテルをでた。上等のホテルで、朝食が素敵だが 7 時から 9 時なのであきらめた。4 号線淑大入口から一駅北のソウル駅へ。そこから空港高速列車に乗った。41 分、空港に着いた。

プサンエアー機上、KENWOOD でサイモン＆ガーファンクルを聴いていたら、寝てしまった。目がさめたら関空だった。コロナ検疫のためか、いつものモノレールには乗せてくれず長い通路を歩かされた。足の悪い人にはつらいだろう。

事前にワクチン接種証明書を作っていたが、まだ手続きが必要らしい。ワクチン接種証明書のほかに、コロナ関係の QR コードの事前申請も必要だったようだ。私はそれをスマホにダウンロードしていなかった。でも、厚生省の優しいアルバイト？が、パソコン入力をしてくれた。A4の紙に QR コードを打ち出したものを作ってくれた。

そして、入管へ。けっこう並んでいる。最後、日本人（永住者も）と外国人の分岐があった。日本人の方は、すいていた。悪いなあと思いながら、入管窓口に。そして、外にでた。

荷物の受け取りのベルトコンベアー。そこにぎっしりとスーツケースなどがならんで、グルグル回っている。こういうのをはじめてみた。プサンエアーは韓国人がほとんどで、まだ入管に時間がかかっているのだ。そして、ロビーにでた。迎えはない。（あたりまえ・・・）

せっかくだから関空を探索。行くときは、客も多くにぎやかな感じだったが、静かだ。時間帯がちがうのか。

朝食抜きだったので、関空 3 階のレストランに行った。が、なかった。3 階フロアーが全面改装中とのこと。コロナの影響だろう。仕方ない、最近オープンした 2 階のフードコートに行った。きつねうど

んを食べた。まずかった。
　リムジンバスで、神戸三宮に向かった。また KENWOOD を聴きながら寝てしまった。すぐに三宮についた。
　急に荷物が重く感じられた。阪急電車で六甲へ、そして学生センターへ。1 週間ぶりで、なつかしかった。

　家に帰った。やはり、なつかしかった。自由なのんびりした旅だったが、少々つかれた。同じようにビール、夕食、風呂、そして寝た。充実したソウル行きであった。

著者　飛田雄一（ひだ　ゆういち）

1950 年神戸市生まれ。神戸学生青年センター理事長、むくげの会会員など。著書に『日帝下の朝鮮農民運動』、『現場を歩く 現場を綴る―日本・コリア・キリスト教―』、『心に刻み、石に刻む―在日コリアンと私―』、『旅行作家な気分―コリア・中国から中央アジアへの旅―』、『再論 朝鮮人強制連行』、『極私的エッセイ―コロナと向き合いながら』などがある。

ソウルのあるき方、のぼり方、のみ方

2022 年１１月２０日発行

編集・執筆・発行　飛田雄一

〒657-0011 神戸市灘区鶴甲 4-3-18-205

e-mail　hida@ksyc.jp

Cass
7
Cass